

平成23年度 全体事業計画

事務局長 梅 村 武 仁

1. はじめに

今年度は、10月28日（金）に、第66回北海道国語教育研究大会釧路大会が開催される。大会研究主題「確かで豊かな言語活動を通して生きてはたらく言葉の力を育む国語科授業の創造」のもと、前年度函館大会の研究成果や課題を踏まえた活発な研究討議が行われるように全道各地の実践的な研究を結集していくことが重要であると考えます。

北海道の国語教育を向上・発展させていくためには、会員一人一人が学習指導要領に示された国語の目標や内容等について共通理解を図りながら、それぞれの国語教室で行われている日々の実践を持ち寄って協同研究することが何よりも大切である。本連盟では、全道各地で開催する研究大会を中核に据えつつ、全国各地の研究大会・研修会にも参加・派遣できる体制を整え、活発な研究活動が展開できるよう努めていきたい。新しい学習指導要領、全国の国語教育の動向にしっかりと目を向け、北海道の児童・生徒の国語力の傾向をとらえながら、今後も北海道の児童・生徒に相応しい国語教育のあるべき姿を追い求める研究組織でありたいと考える。

2. 活動の基本方針

- 1) 北海道国語教育研究大会の成功を期し、文科省や道教委、教育関係諸団体との連携を密にするとともに、研究活動の充実に資する情報交流の活性化に努める。
- 2) 講師派遣の要請に積極的に対応するなど、各地区との連携を深めながら、国語教育の振興と充実に努める。
- 3) 新入会員の確保及び会費納入会員の拡充を図るなど組織強化に努める。
- 4) 国語教育に関わる実践資料の収集や国語教育の振興につながる調査活動に努める。
- 5) 国語教育に関わる新鮮な情報の発信に努め、積極的な広報活動に努める。
- 6) その他

3. 本年度の主な事業内容

- 1) 第66回北海道国語教育研究大会釧路大会の開催
- 2) 全道常任委員会・大会会員総会の開催
- 3) 各種研究大会・研修会への参加及び派遣
- 4) 道内の児童・生徒を対象とする語彙量調査の実施
- 5) 夏・冬の学習会の開催（夏は文科省水戸部教科調査官を講師に予定）
- 6) 会報、研究物の発行、及び、ホームページの充実
- 7) 日常の研究実践資料の収集・提供
- 8) その他（協賛企業の募集など）

【全道大会等の開催地】

- 平成21年度（第64回）札幌大会 第38回全国小学校国語教育研究大会北海道大会
平成22年度（第65回）函館大会
平成23年度（第66回）釧路大会
平成24年度（第67回）十勝・帯広大会
平成25年度（第68回）札幌大会 第43回全日本中学校国語教育研究協議会北海道大会
平成26年度（第69回）空知大会
平成27年度（第70回）旭川大会
※平成28年度（第71回）網走大会
※平成29年度（第72回）釧路大会
※平成30年度（第73回）函館大会

平成23年度 事務局活動計画

事務局長 梅村 武仁

1 運営方針及び業務内容

北海道の小中学校における国語教育の振興と充実に資するために次の業務の推進に当たる。

- 1) 活動方針及び活動推進計画の作成と活動報告に関すること
- 2) 組織や事業の維持向上に関すること
- 3) 各地区組織との連携や連絡調整に関すること
- 4) 各局・各部の活動を推進していく上での連絡調整に関すること
- 5) 役員会、事務局会、常任委員会、大会会員総会等の開催に関すること
- 6) 関係機関(文科省、道教委、市教委、各教育局等)、他団体との連携に関すること
- 7) 関係機関、他団体への派遣に関すること
- 8) その他

2 担当者及び主な業務内容

事務局長	梅村 武仁	(伏見中)		・事務局の統括 ・活動方針、推進計画の作成 ・諸会議の開催 ・活動報告の作成 等	
事務局次長	総務	大友 裕之	(月寒中)	(局長補佐) 庶務部	・事務局長の補佐 ・諸会議開催の実務 ・役員委員一覧の作成(会計局次長) ・各局各部活動の支援 ・常任委員会等の準備
		川嶋 英輝	(新琴似北小)	情報部	・連盟の夕べ等の準備 ・大会参加の集約等
	研究	貴戸 紀彦	(南郷小)	研究部	・研究大会開催業務 ・全道研究大会の支援
		齋藤 昇一	(簾舞中)	小中学部	・研究部との連携 ・小中学部の支援

3 その他業務の担当者

- 1) 全小国研 北海道代表理事 新岡 敏雄 全小国研 北海道事務局 川嶋 英輝
- 2) 全中国研 北海道代表理事 梅村 武仁 全中国研 北海道事務局 土佐林 仁

4 年間推進計画

別紙参照

平成22年度 北海道国語教育連盟 事業報告

月	事 業	備 考
4	異動状況の把握、委嘱状の作成・発送 事務局会 4/8、正副部長会 4/10、拡大委員会 4/24	
5	函館大会後援依頼、提言依頼、助言依頼 上旬～下旬 事務局会 5/12、正副部長会 5/12 連盟役員会 5/15、常任委員会、懇親会 5/15 全中国研理事会 5/26(東京)	
6	事務局会6/2、正副部長会 6/5 全小国研理事会 6/18(東京) 連盟の夕べ 6/19	理事派遣
7	「全中国研43号」送付	
8	空知地区国語教育研究会へ講師派遣 8/9 夏の研究交流学習会(水戸部修治教科調査官の講演、他) 8/9 函館大会二次案内発送 8/23	講師派遣
9	事務局会9/1、正副部長会 9/6 機関誌169号発行・発送作業 9/14 第17回どうしん私とぼくの小学生新聞グランプリ審査 9/28	
10	第60回全国小・中学校作文コンクール審査 10/8 連盟役員会 10/21 第65回北海道国語教育研究大会函館大会 10/22 大会レセプション開催・研究紀要発行 大会会員総会 10/22 第39回全小国研北九州大会 10/29	提言者、助言者派遣
11	第39回全中国研神奈川大会 11/12 政令指定都市中学校国語研究協議会福岡大会 11/19 事務局会 11/16、正副部長会 11/24 道教委へ後援事業完了報告書提出 11/30	提言者、司会者、助言者派遣
12	檜山管内瀬棚町国語教育研究会に講師派遣12/3	講師派遣
1	平成22年度「青少年に夢と希望を」作文コンクール審査 1/6 函館大会研究集録発行 1/7 冬の研究交流学習会(田中孝一主任視学官の講演、他) 1/11	
2	事務局会 2/23、正副部長会 2/26 発送作業 2/26	

<後援事業>

- ① 第55回 全道学校書道展(主催 北海道書道教育連盟、毎日新聞北海道支社) 12/1～12/5
- ② 第31回 留萌地方国語教育研究大会天塩大会(主催 留萌地方国語教育研究会) 11/8
- ③ 第63回 北海道学生書道展覧会(主催 北海道書道教育連盟、北海道新聞社) 1/7～1/10
- ④ 第45回 北海道国語教育学会全道研究大会(主催 北海道国語教育学会) 11/21
- ⑤ 第31回 絵と文による冬休み読書大賞(主催 北海道学校図書館協会、北海道新聞社)

<協賛(広告)>

- ① 北海道通信社創業60周年並びに「日刊教育版」創刊35周年、他

<協力>

- ① 第60回 全国小・中学校作文コンクール(主催 読売新聞社)
- ② 第17回 どうしん 私とぼくの小学生新聞グランプリ(主催 北海道新聞社、他)

③ 平成22年度「青少年に夢と希望を」作文コンクール（主催 北海道教育振興会）

会 計 局 活 動 計 画

1 担当者

局長 佐藤 善紀
 【札幌市・栄南中】
 次長 藤川 尚子
 【札幌市・苗穂小】

2 業務

本連盟の活動は、会員の会費を主とした予算によって支えられている。今年度も計画的かつ適切な予算執行を行い、活動に支障をきたさないようにする。

(1) 予算の立案と執行

① 各部と連携して、適切な会計業務を行う。

(2) 会費徴収

① 常任委員会、学習会、研究大会などの場面で、組織部と協力して現金徴収を行う。

② 会費納入依頼文書と郵便振込用紙の発送を行う。

③ 必要に応じて督促を行い、会費納入率を上げる。

(3) 会員名簿作成

① 各地区委員、組織部と協力して、異動状況を把握する。

② 事務局と連携して、名簿作成を迅速に行う。

(4) その他

3 年間計画

月	内容	会計業務
4月	連盟名簿作成、活動計画・予算案作成	
5月	連盟名簿完成、会費徴収（常任委員会）	
6月	会費納入依頼文書等の作成・発送	
7月	郵便振込による会費納入開始	
8月	会費徴収（夏の学習会）	
10月	会員徴収（北海道国語研究大会釧路大会）	
11月	会費納入状況把握 会費督促文書の発送	
12月	大会研究収録送付会員の把握	
1月	会費徴収（冬の学習会）	
2月	年度反省・次年度の方針の検討、会計決算	
3月	会計監査、会員異動調査	↓

平成23年5月吉日

会員の皆様

北海道国語教育連盟

委員長 福田 信一

会計局長 佐藤 善紀

平成23年度 連盟年会費納入のお願い

万緑の候、会員の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年、10月に函館で開催された北海道国語教育研究大会では、関係された諸団体を含め、多くの先生方の御協力のもと大きな研究の成果を得ることが出来ました。心から感謝申し上げます。

さて、平成23年度の年会費につきまして納入していただきたくお願い申し上げます。お手数をおかけいたしますが、振込用紙にて納入くださいますようお願い申し上げます。

- 1 連盟年会費 年額 3000円

- 2 納入方法 郵便振込でお願いいたします。
* 現職の方は、学校名、学校の住所、電話番号を記入ください。
* 退職された方は、自宅の住所、電話番号を記入ください。

- 3 振込先 口座番号 02720-6-49402
加入者名 北海道国語教育連盟

- 4 その他 振込手数料が必要です。

お問い合わせ先 会計局長 佐藤 善紀 札幌市立栄南中学校
〒007-0836 札幌市東区北36条16丁目1-1
(Tel) 011-781-1260 (Fax) 011-783-1100
会計局次長 藤川 尚子 札幌市立苗穂小学校
〒065-0009 札幌市東区北9条東13丁目1-1
(Tel) 011-721-5105 (Fax) 011-721-5107

留意点

3年間、会費が納入されておらず、本年度も未納の方には、次年度の機関誌の発送及び会費納入のお願いを控えさせていただきます。

平成23年度 北海道国語教育連盟
庶務部活動計画

庶務部長 奥崎 敏徳

1. 担当

部長	奥崎 敏徳 (新川小学校)
副部長 (小)	吉田 典史 (山の手小学校)
同 (中)	高橋 松志 (常盤中学校)
部員 (小)	都築 典子 (幌南小学校)
同	安尻 太郎 (伏見小学校)
同	工藤 真理 (資生館小学校)
同	大久保 康 (元町小学校)
同	清水 由美 (二条小学校)
同	佐藤 友美 (北九条小学校)
同	杉村 希 (北九条小学校)
同	松尾 奈美樹 (円山小学校)
同	太田 沙絵 (北小学校)
部員 (中)	井内 美里 (新川中央小学校)
同	山下 美央 (清田中学校)
同	蜂屋 陽子 (柏中学校)
同	紺野 翔太 (屯田北中学校)

2. 業務と分担

庶務部は各部の業務が円滑に進められるように連絡、調整、支援に当たること、国語連盟の諸活動が組織として成果が上がるように活動することを主な業務とする。

○業務

- ① 庶務部活動計画の作成
- ② 総会・常任委員会・役員会等の開催に係る事務的業務
- ③ 総会・常任委員会決定事項についての関係者・機関への情報提供
- ④ 正副部長会議等に係る事務的業務
- ⑤ 委嘱・派遣などに係る事務的業務
- ⑥ 各地区組織、各部活動、他団体との連絡・調整に係る事務的業務
- ⑦ 連盟事業活動（機関誌含む）に係る文書の収受、作成、発送、保管
- ⑧ 他の部に属さない業務
（全道大会参加体制づくり、懇親会の企画・運営、連盟業務の効率化と経費節約に関する調査・改善等）

○分担

- ※①～⑤及び⑧は部長が所轄し、副部長が担当する。
- ※⑥は副部長（中）が所轄し、中学校部員が主に担当する。
- ※⑦は副部長（小）が所轄し、小学校部員が主に担当する。

3. 年間推進計画

4 月	活動計画案作成、拡大委員会案内状発送、委嘱状の作成・発送 常任委員会案内状発送
5 月	常任委員会・懇親会準備、懇親会受付業務（21日） 連盟の夕べ・案内状発送（11日）
6 月	各地区・関係機関・各部との連絡調整業務、連盟の夕べ開催準備 連盟の夕べ受付業務（18日）
7 月	釧路大会2次案内発送作業
8 月	釧路大会参加体制作り
9 月	機関誌発送関係業務
10 月	釧路大会参加（総会準備）
11 月	
12 月	釧路大会研究集録発送業務
1 月	
2 月	年度反省（活動報告作成）

平成23年度 北海道国語教育連盟 研究部活動計画

作成者 研究部長 高橋 伸

1 担当者

部長 高橋 伸 札幌市立中央中学校
 副部長(小) 村上 智樹 札幌市立幌南小学校 副部長(中) 上田 浩嗣 附属札幌中学校
 部員
 (小) 伊藤 猛 札幌市立伏見小学校 (中) 藤田 憲一 札幌市立伏見中学校
 名古屋 学 札幌市立中央小学校 皆川 慎太郎 附属札幌中学校
 鈴木 浩司 札幌市立百合が原小学校 作田 昌史 札幌市立札幌中学校
 目黒 麻衣 札幌市立幌北小学校 高橋 智子 札幌市立北白石中学校
 石森 直記 札幌市立北九条小学校 森山 奈緒子 札幌市立中央中学校
 亀田 和人 札幌市立稲穂小学校 米田 朋弘 札幌市立平岸中学校
 木村 美和子 札幌市立札幌小学校 新井 拓 札幌市立前田北中学校
 杉下 和歌子 札幌市立山の手小学校 横道 幸紀 札幌市立中の島中学校

2 業務内容

- ① 研究大会に関する研究内容
- ② 小学部、中学部、組織部との連絡、連携
- ③ 研究会等の講師派遣
- ④ 学習会等の企画
- ⑤ 全道、全国の研究動向の調査（北海道の国語力向上に向けての研究）
- ⑥ 調査研究活動（児童生徒の語彙量の調査など）
- ⑦ 当連盟の将来展望に立ち、研究の内容や方法について検討する

3 本年度の研究主題について

確かで豊かな言語活動を通して生きてはたらく言葉の力を育む国語科授業の創造

4 年間計画

月	年間業務内容（推進計画）
4月	活動計画案の作成
5月	役員会、常任委員会で年間計画、研究主題の提案 24年度開催地区（十勝・帯広）の研究構想 語彙量調査の運営
6月	各地区との交流 学習会
7月	各分科会との情報交流 全小国研、全中国研への参加体制作り 語彙量調査の実施（1学期中）
8月	各地区との交流、次年度開催地区での学習会 札幌での学習会
9月	釧路大会体制作り
10月	第66回釧路大会開催 国語教育連盟総会
11月	24年度大会へ向けての研究推進 全道語彙量調査の結果報告
12月	研究のまとめ
1月	札幌での学習会 全道語彙量調査に関する報告
2月	年度反省

情報部活動計画

情報部長 林 貞年

1. 担当者

部長 (小) 林 貞年 (元町北小学校)
副部長 (小) 猪股 嘉洋 (平和小学校)
同 (中) 大田 利幸 (中の島中学校)
部員 (小) 山田 博 (北九条小学校) 伊藤健士郎 (中央小学校)
山本 辰也 (丘珠小学校) 唐澤 俊樹 (東橋小学校)
伊藤 太 (福住小学校) 藤平 拓二 (美しが丘緑小学校)
中島 大輔 (緑丘小) 香川 寛樹 (上野幌東小学校)
阿部 剛久 (美しが丘小学校)
部員 (中) 西川秀喜 (前田中学校)

2. 業務内容

<基本方針>

- ・各部から寄せられた活動内容や連絡事項及び研究会などの案内や情報などを、機関紙やHPに掲載することで、国語教育連盟の活動を北海道の会員及び国語教育に関心をもつ方々に広く情報を提供していくことを主な業務とする。
- ・機関紙やHPを通して、北海道の連盟各地区との連携や交流を充実させていく。

❖部長

- ・情報部統括, 他の部との連絡調整
- ・機関紙及びHPの企画立案統括
- ・編集会議の立案・運営・派遣依頼

❖副部長

- ・機関紙関係・・・企画, 原稿依頼及び依頼文書発送, 玉稿礼状の発送
- ・HP関係・・・企画, 取材, 運営の推進
- ・機関紙記録保管
- ・機関紙等の印刷業者対応

❖部員

- ・機関紙の取材・編集・校正
- ・HPの取材・作成・更新

3. 推進計画及び日程

●機関紙関係

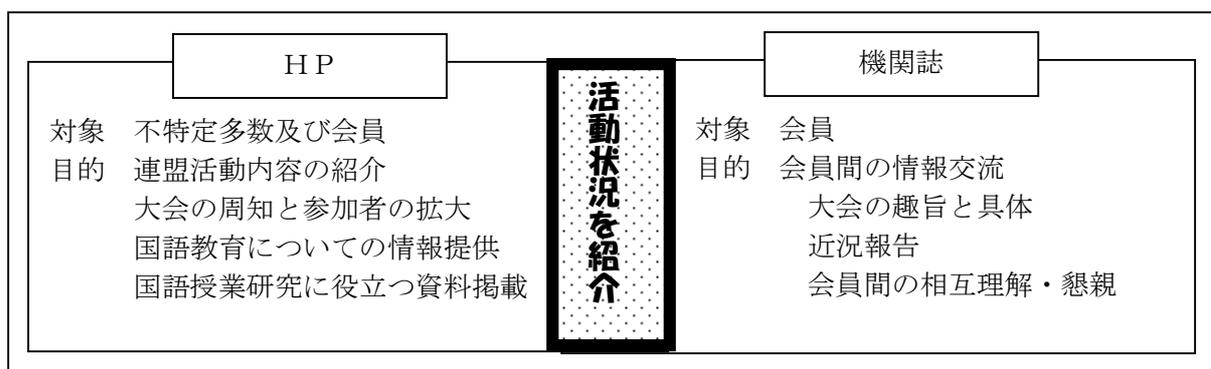
(1) 機関紙第170号の企画編集会議	平成23年	5月中旬
原稿取材依頼	平成23年	6月中旬
原稿編集校正	平成23年	7月下旬
原稿締め切り	平成23年	8月上旬
印刷業者入校	平成23年	8月中旬
(2) 機関紙第170号の発送	平成23年	9月初旬予定

●HP 関係

HP の編集会議	平成 23 年	5 月中旬	(機関紙班と合同)
HP の主な更新予定	平成 23 年	4 月中旬	読売新聞「語彙量調査」記事掲載
	平成 23 年	5 月	常任委員会
	平成 23 年	8 月	夏季学習会
	平成 23 年	10 月	釧路大会
	平成 24 年	1 月	冬季学習会

編集会議終了後、研究大会第 1 次案内・2 次案内・申込書、指導案や授業資料等、地区の情報、学習会資料等の情報を収集・整理して随時更新していく。

4. 機関紙及び HP の役割とその内容



1 機関紙の役割

- ①会員だからこそ欲しい情報を提供
 - ★ニーズにあった情報
 - 現役会員には研究に役立つ情報を、OB 会員には研究情報に合わせて連盟活動の近況報告を
- ②国語研究人だからこそ欲しい情報を提供
 - ★各地区からの実践を幅広く掲載することで研究情報の共有
 - ★研究大会の詳細（研究主題解説、分科会の内容）
- ③世代をつなぐ役割を
 - ★現役間，現役←→OB 間 で交流を深める
- ④会員間の親睦を深める
 - ★会員の紹介

2 HP の役割

- ①不特定多数に提供すべき情報の厳選及び発信
 - ★連盟の活動内容の紹介
 - 大会の情報(開催の趣旨・開催地・開催時期等)を提供することにより参加者の拡大をねらう
 - 活動状況(各地区の活動紹介)OB 会員には 研究に役立つ情報と活動の近況報告を
- ②国語研究団体として国語教育に関心のある方々へ情報を提供 (会員ページ)
 - ★会員ページの充実を図る
 - 指導案やワークシート等の実践紹介
 - 各地区からの実践を幅広く掲載することで研究情報の共有
 - 連盟主催の学習会から学んだこと、資料等を掲載
- ③世代をつなぐ役割を
 - ★現役間，現役←→OB 間 で交流を深める
- ④会員間の親睦を深める
 - ★会員の紹介

組 織 部 活 動 計 画

組織部長 金田 昭孝

1 担当者

部長

金田 昭孝 【札幌市・向陵中】

副部長

岡田 一伸 【札幌市・附属小】

小熊 剛彰 【札幌市・札苗中】

部員

井上 絵里 【札幌市・幌北小】

菅又 隆之 【札幌市・陵陽中】

篠原 一郎 【札幌市・手稻中】

石川 容子 【札幌市・八軒中】

2 業務内容

①会員募集

- ・ 会員募集文書作成、発送
- ・ 大会時等における新規会員募集

②年度末の異動に関わる会員の動向調査

③各地区国語研究団体の情報収集

④協賛広告の募集（会計局との連携）

⑤組織確立

3 年間計画

4月	年度末異動に関わる動向調査 ～会計局への協力 活動計画案作成
5月	活動計画提案 会員募集、会費徴収（常任委員会）～会計局への協力 新規会員勧誘文書の作成
6月	各地区研究団体の確認
8月	夏の学習会における会員募集、会費徴収
9月	全道大会用会員募集文書作成
10月	会員募集（第66回北海道国語研究大会釧路大会）
1月	冬の学習会における会員募集、会費徴収 各地区活動状況の把握
2月	年度反省、次年度の方針の検討

小学部 年間活動計画

1. 担当者
- | | | |
|------|-------|----------------|
| 部長： | 若松 広美 | (札幌市立手稲中央小学校) |
| 副部長： | 西村 裕子 | (札幌市立美しが丘緑小学校) |
| 部員： | 北山 裕規 | (札幌市立新陵小学校) |
| | 西尾 美紀 | (札幌市立真駒内緑小学校) |
| | 須藤 慎也 | (札幌市立藻岩南小学校) |
| | 及川 学 | (札幌市立星置東小学校) |
| | 田村 崇志 | (札幌市立幌北小学校) |
| | 下坂 卓也 | (札幌市立中央小学校) |

2. 業務内容

- (1) 小学校研究推進の企画・運営
 (2) 小学校研究組織の確立・拡充
- ・業務の推進にあたって、小学校国語科教育の課題を明らかにするとともに、これまでの連盟研究の流れをふまえるようにする。
 - ・中学部並びに研究部と連携し、小中合同の学習会を企画し、研究組織としての凝集性を高める。
 - ・全道大会を通じて全道各地区との研究や実践の交流を図り、小学校研究の課題と方向を明らかにする。

3. 年間計画

月	活 動 内 容
4月	<input type="checkbox"/> 年間活動計画の立案
5月	<input type="checkbox"/> 常任委員会における年間計画提案と各地区研究の把握
6月	<input type="checkbox"/> 学習会の企画立案
7月	▽ ▽ ▽
8月	<input type="checkbox"/> 夏の小中合同学習会の実施（開催日時8月5日）
9月	<input type="checkbox"/> 全道大会への参加体制確認
10月	<input type="checkbox"/> 全道大会の参加 全道各地との交流
11月	<input type="checkbox"/> 学習会の企画立案
12月	▽ ▽ ▽
1月	<input type="checkbox"/> 冬の小中合同学習会の実施（開催日時 未定）
2月	<input type="checkbox"/> 次年度小学校活動計画の見通し
3月	<input type="checkbox"/> 活動報告

中学部 年間活動計画

- 1. 担当者**
- | | | |
|-----|-------|---------------|
| 部長 | 葛西 孝之 | (札幌市立屯田中央中学校) |
| 副部長 | 横井 美史 | (札幌市立札苗中学校) |
| 部員 | 多田 真一 | (札幌市立真栄中学校) |
| | 綿谷 聡 | (札幌市立厚別北中学校) |
| | 渡部 浩士 | (札幌市立北辰中学校) |
| | 富田 明好 | (札幌市立簾舞中学校) |

2. 業務内容

- (1) 中学校の研究の企画・推進（研究部との連携）とそのまとめ
- (2) 中学校の組織の拡充（組織部との連携）とその活性化
 - ・新しい学習指導要領の基本方針に基づき、中学校国語科教育の課題を明らかにするとともに、これまでの連盟の研究実践の流れを踏まえた活動を推進する。
 - ・学習指導要領の移行期を意識し、「生きる力」を高め合う新しい国語科授業の創造に努める。
 - ・学習者主体の授業を目ざし、国語を尊重する態度を育成するとともに実生活に生きてはたらく言葉の力を追究する。
 - ・各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付けることを重視し、言語活動の充実を図る授業の創造に努める。
 - ・研究の交流と進化、人的な輪の広がりのために、小中合同の夏と冬の学習会を企画し、連盟研究組織の拡充を図っていく。

3. 活動計画

月	活 動 内 容
4月	年間活動計画案の作成
5月	役員会・常任委員会で年間計画の提案
6月	連盟の夕べ参加・協力 各地区の情報収集・交流
7月	夏の研究交流学習会へ向けた準備
8月	夏の研究交流学習会 各地区の情報収集・交流
9月	全道大会への参加体制の確認
10月	第66回北海道国語教育研究大会（釧路大会）参加 全道各地との交流
11月	大会の成果と課題のまとめ
12月	冬の研究交流学習会へ向けた準備
1月	冬の研究交流学習会 各地区の情報収集・交流
2月	次年度へ向けた活動計画の見直し
3月	年度反省 年間活動報告書の作成と報告 次年度研究の素案づくり